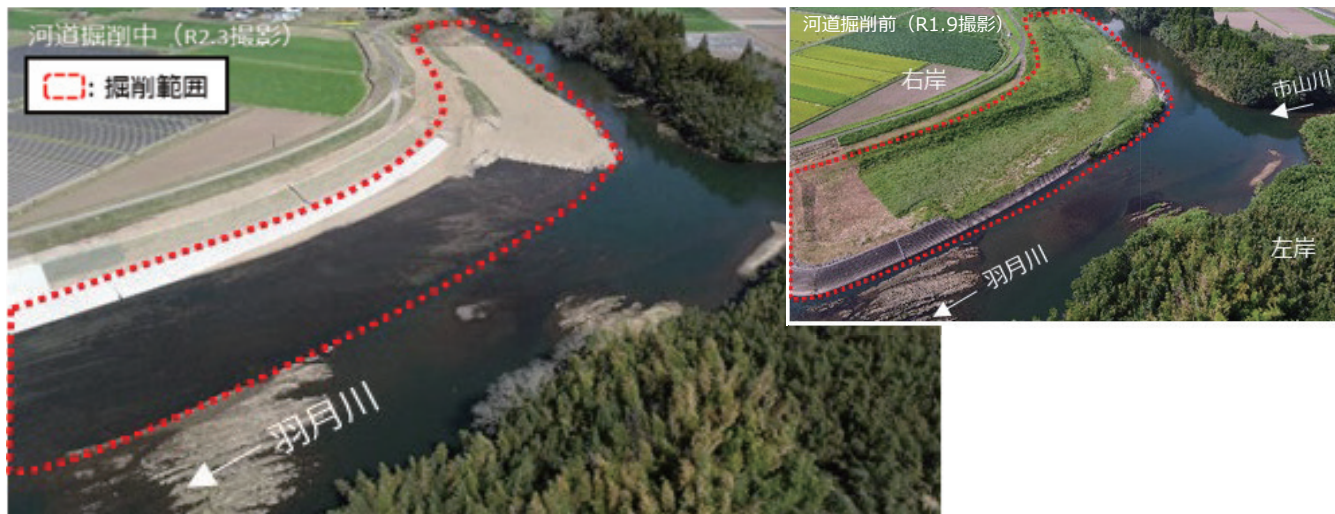


河道掘削等により家屋の浸水被害を防止 (鹿児島県伊佐市)

事業者：国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所

災害時に効果を発揮した3か年緊急対策の事例



対策名： No.2 全国の河川における洪水時の危険性に関する緊急対策（河道等）

事業名： 川内川直轄河川改修事業

- ポイント**
- 従前の再度災害防止対策に加え、3か年緊急対策により河道掘削を実施
 - 計画的かつ継続的な対策により家屋等の浸水被害を防止

地域の概要・課題

川内川水系羽月川は伊佐市の中心を流れており、沿川には市街地や農地が存在しています。

平成18年7月の洪水では、浸水面積180ha、浸水戸数70戸と甚大な被害を受けました。

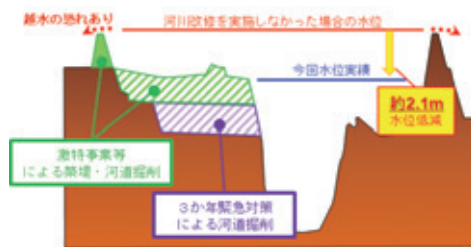
事業の概要

羽月川沿いでは、平成18年7月洪水による被害を受け、川内川本川を含めた集中的かつ計画的な再度災害防止対策（河道掘削等）を実施しました。

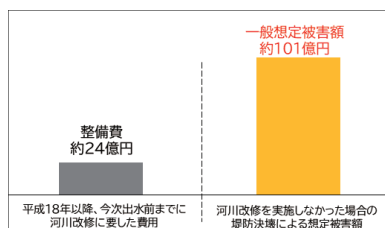
これに加え、更なる対策として、平成30年度より「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」による河道掘削を実施いたしました。

効果

令和2年7月豪雨においては、3か年緊急対策による河道掘削等を実施していたことで、約2.1mの水位低減により越水を回避し、危険な水位以上の継続時間を約4時間短縮し、約101億円の被害軽減効果があったと想定されます。



約2.1mの水位低減により越水を回避



約101億円の被害軽減効果